

# 緑化だより

No.106 平成27年6月号



カルミア

- 緑化センターの希少な樹木(14)
- 研修会のご案内
- 野鳥の世界(ゴジュウカラ)
- お知らせ・ご案内
- 病虫害の話



**生き物いっぱい 自然いっぱい**

**広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園**

**〒732-0036 広島市東区福田町 166-2**

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail [hiroshima@ryokka-c.jp](mailto:hiroshima@ryokka-c.jp)

## 緑化センターの希少な樹木

### No. 14 チュウゴクボダイジュとキササゲ

チュウゴクボダイジュは中国地方のボダイジュという意味です。昭和47年に発見された新種で、八千代湖（土師ダム）の湖畔にある母樹が昭和54年に広島県の天然記念物に指定されました。指定前に地元の今田実夫氏が母樹から増殖し、八千代湖畔に植栽してあるものを、国土交通省および安芸高田市のご好意により、平成18年に緑化センターへ移植したものです。県内には単にボダイジュと呼ばれる中国大陸原産の種がありますが、それに比べると葉が丸みを帯びて大きく、鋸歯がやや細かいです。また、果実にはより明瞭な筋があります。6月頃、淡黄色の花を咲かせます。広島県の絶滅危惧I類に指定されています。芝生広場に1本あります。

キササゲは細長い果実に特徴があります。木にササゲ（大角豆、一年草）のような果実をつけるということでキササゲ（木大角豆）と呼ばれます。淡い黄色の内側に紫色の斑点がある花を6~7月に咲かせます。葉は3つの角がある形でキリによく似ていますが、脈腋（葉脈の分岐部）に蜜腺があり、毛が少ないことがキリとの違いです。果実は梓実（しじつ）と呼ばれ利尿剤に使われるようです。苗畑の左の谷に1本あります。（川上）



チュウゴクボダイジュ



キササゲ

## 野鳥の世界

### ゴジュウカラ

四季を通じ標高の高い山中(約800m以上の落葉広葉樹林帯)に棲みついているため、人の目にとまる機会は限られますが、ヤマガラ、シジュウカラ、コガラ、ヒガラなどと同じ仲間で、スズメと同じくらいの大きさの小鳥です。

雪の残る冬枯れの森林で鳴く声は、静かな山の中に生き物の命を感じさせてくれ、“フィー・フィー”と細長く尾を引く声は、森の中で春をつけているように聞こえます。緑化センターでも、春先に鳴き声が聞かれることがあり、餌を求めて低山や里山に降りてきているようです。今年の3月には愛好家に撮影されました。



ゴジュウカラ

特徴的な行動パターンとして、頭を下にして幹に停まり、樹木の表皮や樹幹についた

小さな虫を探し出し食べます。そのため、クチバシは少し上向きに反り返っています。それが他のカラ属との判別のしるしになります。

繁殖の季節になるとキツツキの仲間などが空けた穴を探し、利用することが多いようですが、巣穴が大きいと、粘土を運び、ちょうど良い大きさに修復します。柔らかくて乾きの早い泥でちょうど良い大きさにするには大変な時間が必要だと考えられますが、同じコースを通過して材料を運び、仕上げます。ルートを見つけると観察するのは容易ですが、よほどの幸運に恵まれない限り、その機会に出会うことはありません。(吉見)

## 病虫害の話

### うどんこ病 (白濁病)

暖かくなってくる5~6月頃、バラ、マサキ、カシ類、野草などの葉に白い粉を吹きかけたような症状をみることがあります。時間がたつと、広がり株全体が白くなり、葉が波打った様になります。又、9月下旬~10月頃にも発生しますが、その他の季節は発生しません。

日中は暖かくて曇り、夜間は冷え込み、湿度が高くなると、発生するための条件は最適となり、風に飛ばされた胞子が葉に着き、発芽します。飛散するには、気温27℃、湿度40~70%くらいが必要ですが、それより気温が高くなると活動しなくなります。

うどんこ病は水に弱く葉の表面がぬれると発芽困難になりますので、発生初期は、水道水を葉面に散布すると効果があります(井戸水は不可)。そのほか炭酸水素ナトリウム剤、炭酸水素カリウム剤などが有効です。症状が進むと、トリフルミゾール剤、TPN剤などを散布すると良いでしょう。

### ハダニ

ハダニがつく植物は鉢植え植物、庭木など色々で、風通しが悪く、雨の当たらない場所や乾燥した場所にある植物に発生します。

症状としては、観葉植物や多肉植物などの新芽が伸びない。葉がいびつな形になった。葉が変色し、そのうち落葉した。など様々です。

そのような症状を見つけたら、葉の裏や症状の

ている場所を、虫めがねで観察してください。小さな赤いクモのような虫が動いていたり、クモの巣状のものが見られると思います。生態は、雌が交尾しないで生んだ卵は全部雄になり、その卵は10日で孵化して成虫になります。その雄と交尾して生まれた卵は全部雌になります。そうして短期間に増やしていきます。葉の裏に水をかけてやるとある程度予防はできますが、増えた場合は、殺ダニ剤やマシン油乳剤で防除してください。(山根)



うどんこ病



ハダニの害によるアジサイの葉

## 研修会のご案内

- |   |  |
|---|--|
| ○ 6月 2日(土) 『庭木の手入れ』<br>剪定の基本と松の緑摘みを学びます                         | 10:00~12:00 学習室 集合<br>講師：NPO法人 樹木医ひろしま<br>工藤 徹           |
| ○ 6月 13日(土) 『6月の自然探勝』<br>春から夏に向かう植物を観察しよう                       | 10:00~12:00 管理事務所前 集合<br>講師：環境カウンセラー<br>自然観察指導員<br>和田 秀次 |
| ○ 6月 14日(日) 『空と天気と<br>仲良くなろう』<br>いのちを守る気象情報にするために               | 10:00~12:00 学習室 集合<br>講師：お好みワイドひろしま<br>気象予報士 勝丸 恭子       |
| ○ 6月 18日(木) 『草木染め入門』<br>ストールのレモンガラス染め<br>※ 要予約(先着20名)、材料費2,000円 | 13:00~15:00 学習室 集合<br>講師：恵の丘工房会長<br>田村 誓子                |
| ○ 6月 21日(日) 『楽しい絵手紙教室』<br>木の枝を使って描こう<br>※ 要予約(先着30名)、材料費300円    | 10:00~12:00 学習室 集合<br>講師：日本絵手紙協会公認講師<br>香川 道子            |

## ♪☆お知らせ・ご案内☆♪

### お知らせ

#### 第14回ひろしま「山の日」県民の集い

6月7日(日) 10:00~15:00  
場所：レストハウス前周辺

### ◎ 展示会

場所：レストハウス

(ガラスケース展示)

- ・バードカービング作品展  
～6月14日(日)
  - ・モーモーアート手作り作品展  
6月17日(水)～7月20日(月)
- (ボード展示)
- ・奇妙な形のキノコ写真展  
～6月14日(日)
  - ・ボタニカルアート作品展  
6月17日(水)～7月10日(金)

※6月は月曜日が休園日です



昨年のひろしま「山の日」県民の集いより



昨年のボタニカルアート作品展より